



かどわきっ子

大野木場小学校便り No.15

令和6年10月28日(月)

南島原市立大野木場小学校

校長 森田 純弘

鍛錬・学習遠足

18日(金)は、すばらしい秋空のもと、鍛錬・学習遠足がありました。秋とは思えないほどの暑さで、その日の最高気温は30℃を超えましたが、子どもたちは皆元気に過ごすことができました。遠足に向けて、子どもたちの体調管理に気を配っていただき、ありがとうございました。

1・2年生の目的地は、島原市のひょうたん池公園でした。片道4.9kmを元気に歩き、到着してからも秋を感じられるものをたくさん見つけていました。たくさんのドングリやかさをもち帰ったことでしょう。昼食後は遊具で遊び、垂直に降りる滑り台を多くの子ができるのにビックリしました。帰りは路線バスに乗って帰校しましたが、整理券をとる、降車時に運賃を払うなど滞りなくできました。何事も経験ですね。

3・4年生の目的地は、土石流被災家屋保存公園と雲仙岳災害記念館でした。初めて訪れたという児童も多く、土石流に埋まった家屋を間近に見て、その勢いを改めて感じていました。災害記念館では、展示物を見て学習した後に、ガイドさん先導のもと、導流堤の中をわれん川あたりまで歩きました。子どもたちの会話には、メモリアルデーで5年生が発表したことと関連付けたものもあり、うれしく思いました。

5・6年生の目的地は、普賢岳でした。2年ぶりの普賢岳登山。紅葉茶屋から左に行くコースでしたが、遅れた子は少し険しい右ルートを選択し、みごと1位でゴールしたとのこと。みんなで声を掛け合い、励ましながら登る姿や出会う方々と挨拶を交わす姿がとても清々しく爽やかだったとうれしい報告を受けました。

観劇もでしたが、本物の体験が子どもたちの心を成長させてくれています。

ちょっとブレイク

前回、読みたい本があることを書きました。購入しましたが、その内容については、またの機会に紹介します。今回紹介するのは、『頭のよい子』を育てるすごい習慣(プレジデント社)」という本です。筆者は、脳科学研究で有名な東北大学の「川島隆太」先生です。

「頭のよい子」とは何なのでしょう。考えるところは人それぞれでしょうが、川島先生は脳科学の研究者ですから、「脳の中に高速ネットワークをたくさん持っている状態」と定義して論じています。「どうすればネットワークをたくさん持つことができるか。」「どうすればネットワークを高速化できるか。」ということ。「脳育、習慣、食事、勉強法」などで紹介しています。

では、中身を少しだけ。「音読・読書は、脳の構造さえも変える。」「朝ご飯は、パンより米が脳にいい。」「一緒にホットケーキをつくると、子どもの頭がよくなる。」どうですか。読みたくなってきませんか。次回、中身をもう少し御紹介します。

11月のおもな行事

- 1日(金) 面談週間(～11/7)
- 2日(土) 深江町文化祭(～11/3)
- 6日(水) 居住地交流(5年)
- 11日(月) 卒業記念写真撮影
- 12日(火) 朝マラソン開始
- 14日(木) 読書集会、代表委員会
- 16日(土) 市P連球技大会
- 19日(火) ふるさと発見ツアー(6年)
- 20日(水) 商工会主催講演会(6年)
- 22日(金) 避難訓練
- 27日(水) 人権週間(～12/10)
- 28日(木) クラブ活動
- 29日(金) 持久走大会、学級部会
学校保健委員会講演会